柿生文化

柿生郷土史料館　情報・研究誌
住所:川崎市麻生区上麻生 6-40-1
柿生中学校内
電話:070-1503-6401/044-988-0004
http://web-asao.jp/hp2/k-kyoudo
第 134 号

草創期の柿生中学校 - 6

卒業生の進路　～就職難と金の卵～

小林 基男　（柿生郷土史料館専門委員）

昭和 22 年の開校時に、2 年生として入学した一期生は、24 年 3 月に卒業式を迎えました。翌 25 年 3 月には、開校時に 1 年生だった二期生が卒業しました。以後三期生、四期生と 3 月には毎年卒業生が巣立って行きました。その卒業生たちの卒業後の進路はどうなっていたのでしょう。

年配の皆さんには、説明不要なのですが、しばしお時間をください。右表に昭和 23 年度（24 年 3 月）卒業の一期生から、東京オリンピックという輝かしいイヴェントのあった昭和 39 年度（40 年 3 月）卒業の十七期生までの卒業後の進路をまとめてみました。卒業後に後期中等教育を担う高等学校への進学者が5割に満たない時期がいかに長かったかご理解いただけると思います。首都近郊の純農村地帯だった柿生地域は、禅寺丸柿という独特の商品作物を持っていた恩恵から、尋常小学校の6年間を終えると、大半が子女を2年間の高等小学校に通わせましたが、高等小学校を終えると、家業の手伝いをさせるか、奉公に出すかしていたのです。

卒業生の進路

回生	卒業年度	卒業生数	進学者	就職者	その他
1	昭和23	58	21	37	0
2	24	91	35	5	51
3	25	124	66	14	44
4	26	87	39	25	23
5	27	116	37	41	38
6	28	101	49	26	26
7	29	121	60	31	30
8	30	103	47	32	24
9	31	132	54	58	20
10	32	96	49	39	8
11	33	140	62	75	3
12	34	107	56	44	7
13	35	73	38	31	4
14	36	127	71	51	5
15	37	144	107	33	4
16	38	151	107	33	11
17	39	155	120	26	9

戦後の学制改革で、義務教育が六・三制となり、中学校の三年間を終えるまでは、学校に通わせざるをえなくなったのです。そんなわけですから、中学を卒業すると、家業を継ぐために自宅で仕事の見習いとして働くか、ツテを頼って就職する生徒が多かったのです。表の数字で、アレッと首を捻らざるを得ないのは、23 年度卒業の一期生です。この年だけ、進学した 21 名を除く、37 名全員が就職したことになっています。おそらく、実際の就職者と自宅で家業の見習いをすることになった卒業生の区別がつかず、とりあえず、進学した卒業生以外を就職者に一括したのでしょう。

念のために昭和 24 年という年を振り返っておきましょう。この年4月から、有名なドッジ・ラインと呼ばれる超緊縮のデフレ政策がとられています。日本の敗戦直後の昭和 20（1945）年 8 月と 24（49）年 4 月の物価を比べると、丁度 100 倍になっています。もの凄いインフレです。「このままでは日本経済の底抜けが危ぶまれる。」こう考えた GHQ は、デトロイト銀行総裁のジョゼフ・ドッジを招き、超緊縮予算による財政支出の削減と均衡、1ドル＝360 円の単一為替レートの確定など、日本経済再建のための荒療治を施します。ハイパー・インフレにしろ、超緊縮の徹底したデフレ政策にしろ、中小企業の経営者や庶民にとっては、将来に明るさが見えない経済状況でした。二期生が卒業した昭和 25 年 3 月に見て取れますが、この年は運よく就職できたのは、僅かに 5 名だけという深刻なデフレ不況の中にありました。このデフレ不況からの出口はというと、隣国朝鮮での朝鮮戦争（1950～53 年）という神風によって、思いがけず早期に脱却することが出来たのです。

少し時代が下りますが、昭和 30（1955）年 4 月に、新卒教員として着任された吉岡節子先生の手記によれば。先生は人手不足の関係で専門の美術の外に家庭科の授業も担当されたのですが、「廊下を歩くたびに、保健室などから3年生に呼び止められ、新米の私を、最上級生が大事にしてくれていた」と感謝の弁を記され、さらにこう書かれます。「しかし、これも授業中のみで、放課後、終鈴となると、嘘のようにサッと消えてしまう。家業（農業）の手伝い、労働の担い手として、家路を急ぐためだ。」（『三十周年記念誌』）と。今と違って、中学生は既にして家業を手伝う労働力として期待されており、生徒たちもそのことをしっかり自覚していたのです。卒業後に高等学校に進学できるのは、暮らしに余裕のある一部の生徒にとどまっていたのです。当時農村地帯では、田植えと収穫の時期に農繁期休業があり、家が農家の生徒たちは、皆戦力として農作業に駆り出されたのですが、非農家の生徒たちもまた、保育実習の一助として、岡上から始まった農繁期託児所の手伝いをして喜ばれていたのです（橘川操先生談）。

朝鮮戦争が神風となって、日本経済は回復に向かい始め、やがて大企業も中小企業も、中学校の卒業生を競って雇用しようとし始めます。その結果、中卒の求職者に対する求人倍率は、昭和 30 年には、1,64 倍と 1 倍を大きく超え、中卒者は「金の卵」と称されて、争奪戦の的となってゆきます。就職担当の先生が、就職希望者全員に職場を確保するために苦労した時代は、過去のものとなったのですが、高等学校進学者が初めて 50％の壁を越えたのは、昭和 35（1960）3 月卒業の十二期生からでした。日本経済が離陸期を迎え、高度経済成長の波に乗り、中産階級が次第に厚みを増し、柿中卒業生も 7 割以上が進学するようになるのは、5 割を超えて僅か3年後の 38（1963）年 3 月の卒業生からでした。ただ、この時期の大学への進学率は、なお 10％程度にとどまっていたのです。

（続く）

シリーズ
「麻生の歴史を探る」第104話

江戸で人気　禅寺丸柿

小島　一也（遺稿）

枝柿

「ハァー　お江戸池上　お会式太鼓　粋な男にゃ禅寺丸 …」ご存知柿生音頭（志村昇作詞）の一節ですが、池上とは現大田区池上の日蓮宗本山本門寺のこと。お会式太鼓とは、毎年10月12日の日蓮上人入寂の縁日の夜に近郷近在の信徒が団扇太鼓を打ち鳴らし、万燈（まんどう＝枠に飾られた灯火）を押し立て、境内や町に繰り出す江戸の名物行事です。その縁日の屋台は、柿生の若い衆によって運ばれた禅寺丸柿で彩られ、人気を呼んだものです。

この禅寺丸柿が一般に甘柿（品種）として注目され始めたのは、家康による禅寺丸柿命名の故事頃からで、寛永9年（1632）、王禅寺村が増上寺領となった頃には江戸に知られており、それは、文化13年（1816）の頃発刊の新編武蔵風土記稿の王禅寺・下麻生・金程・末長・井田・諏訪・河原村などの項に、「禅寺丸柿、土性宜しきを以て栽培す、実に採りて余業となせり」と記していますので、この頃、都筑・橘樹郡から多摩・相模へと栽培が及んでいたことが分かります。

かご

前記、池上のお会式（10月11日～13日）は、ちょうど禅寺丸柿出荷の最盛期で、実りもよく枝柿で売られる値は、一束10個が上物で5銭、並物が2銭5厘、下物が１銭（角田益信氏多摩川音頭余話）で、年代によって相違はあったでしょうが、小粒ながら赤くて丸い禅寺丸柿は、江戸庶民の懐と趣向にピッタリで、水菓子と尊重され、「池上のお会式の名物は、万燈と禅寺丸柿」と江戸町民に吹聴され、慶安の頃（1648～52）江戸市場では果実の王座を占めていたと言われます。

その頃、柿の江戸への出荷は、山道は馬の背に6貫目（22.5kg）入りの籠を3筒乗せて運んだ（弘法松風土記　志村昇氏）といい、平坦な道は馬１頭に乗せる量を１駄（36貫135kgが標準）とされています。幕末から明治になると、手車に4貫目（15kg）入りの籠を4～5個積んで神田市場に運んだ（くろかわ）そうで、早野の高瀬兼五郎さんは六角の竹籠を天秤棒で担ぎ、神田市場へ運んだ（早野郷土史）、との逸話もあります。市場には、西藤・船源・鈴太・丸滅などの問屋が店を連ねていたそうで、柿の値段は、4貫目入り籠で上物が １円50銭、下物が25銭、米１升が6銭25厘の時代、大きな稼ぎであったようです。

禅寺丸ワイン

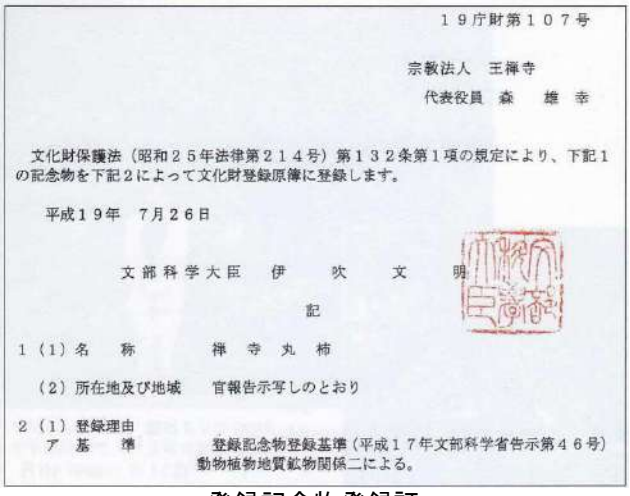
当時、この麻生から神田（片道6里　24km）へは、朝早く家を出て、登戸の渡しを2銭5厘の船で渡り、三軒茶屋で一休みし、大山街道溝の口（二子の渡し）から来る都築・橘樹郡の仲間と一緒に半蔵門を右折、神田市場に入いりました。川崎市史王禅寺明細帳（志村家文書）によると、弘化2年（1845）には王禅寺村だけで年200～260両の現金収入（隔年結果で平均150両）があったと記載されており、それは王禅寺村に限ったものではなく、この地方の貧しい農民の暮らしを助けており、「家を建てれば、柿を植えよ」今も在家の屋敷には柿の古木が残されており、先人100年の大計が名産禅寺丸柿を創り上げたものと思われます。

だが、江戸幕府が滅び、明治維新、時世の変化は、いつまでも禅寺丸柿が果実の王座を占めるのを許しませんでした。このところを市ヶ尾の農民である作家の広田鉄太郎氏（花崖）著の禅寺丸栽培法（明治44年）をお借りして述べると、「然るに十数年前より奥羽地方の林檎東京に現れ、其鮮（あざやか）な色彩と、其の芳烈なる風味とは、奢（おご）れる都人士の嗜好に適い、柿実は消衰への状を呈せるに加えて、相州片浦一帯の柑橘（かんきつ）熟衍（じゅくえん）し、京浜の市場に顕はれ、柿実は再び之に窘（くるしめ）られたり…」とあり、「我が禅寺丸柿は漸く悲境に立ち至らん形勢なりしが、昨、明治42年初めて販路を尾州（名古屋）枇杷島市場に求めるや、名声燦燦（さんさん）として揚がり、栽培は再び活気を呈せり」と時代調で記し、同年10月「禅寺丸柿は都筑郡の特産なるを以て郡長により宮内庁に献上の儀を出願」、王禅寺村森七郎氏の柿実が明治42年10月26日「献上柿子」となったことを述べています。

時は経て100余年、旧柿生村有志により、平成7年禅寺丸柿保存会が結成されて柿ワインが醸造発売され、平成19年には国の文化木保護による登録記念物になっています。

（参考文献）「新編武蔵風土記稿」「多摩川音頭余話」「くろかわ　はるひの開発記録」「郷柿誉悠久（保存会）」「禅寺丸栽培法（広田鉄五郎）

《4ページに関連の詩紹介》


１９庁財第１０７号

宗教法人　王禅寺
代表役員　森　雄　幸

文化財保護法（昭和２５年法律第２１４号）第１３２条第１項の規定により、下記１の記念物を下記２によって文化財登録原簿に登録します。

平成１９年　７月２６日

文部科学大臣　伊　吹　文　明

記

１（１）名　称　　禅　寺　丸　柿

（２）所在地及び地域　　官報告示写しのとおり

２（１）登録理由
ア　基　準　　登録記念物登録基準（平成１７年文部科学省告示第４６号）動物植物地質鉱物関係二による。

登録記念物登録証

シリーズ
教育の歩み 第２部

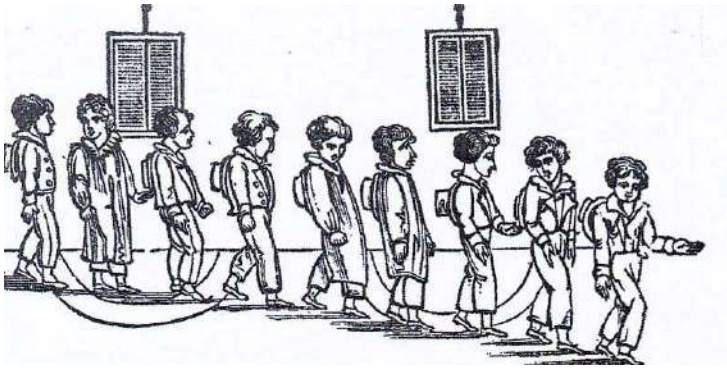
学校の誕生と成長（４）

小林 基男（柿生郷土史料館専門委員）

◆モニトリアルシステムの普及とその問題点◆

こうしてマニュアル化が進行してくると、ランカスターやベルが創りあげたモニトリアルシステムの学校は、マニュアルを利用さえすれば、誰もがすぐに真似することが出来てしまいます。モニターさえ確保すれば、誰でもすぐに開校することが可能なのです。このためランカスターの学校には、多くの見学者が集まり、彼やインドから一時帰国したベルは、イギリス各地に招かれ、講演旅行をしながら、モニトリアムシステムの普及に尽力することになりました。1813 年には、「英国王立ランカスター式学校普及協会」と名付けられた団体まで設立されています。この団体は、翌年にはランカスターの名を外し、「内外学校協会」という、教育の普及を目指す団体となりました。

ここに一つの問題が生じます。モニター制の学校は、比較的簡単に設立することが出来るのですが、どこでもすぐに有能なモニターを確保することが出来るとは限りません。そのため学校数が増加するにつれて、有能なモニターの不足が強く意識されるようになったのです。こうして必要なモニターを十分に確保できるようにするためには、あらかじめモニターを養成する機関を設ける必要が意識されるようになりました。



モニターに引率されて大教室内を移動する生徒たち

内外学校協会は、ランカスターが最初に開いたバラロード校を、モニター養成を専門とする学校に転換して、良質なモニターの確保に乗り出したのです。バラロード校は、事実上最初の教員養成機関となったのです。現在のブルネル大学教育学部は、その後身です。こうしてモニトリアルシステムによる教育は、イギリス各地に普及し、大陸にまで影響を及ぼしていったのです。しかし、このシステムは大きな弱点を抱えていました。モニターをいくら訓練しても、モニターは教師ではなく、教師（マスター）が糸を手繰るティーチング・マシーンに過ぎなかったのです。この事実こそが、モニトリアルシステムが近代教育史に大きな足跡を残しながらも、現代に伝えられず、跡形もなく消え失せてしまった原因ともなったのです。その弱点を以下に記しましょう。

第 1 に、国民の教育要求が広がり、読み書き計算の外に、地理や歴史、自然現象、音楽、体育等多様な教科が徐々に学校教育に取り込まれ、また国教会系（ランカスターの学校は非宗派主義を貫きましたが、ベルは国教徒でしたから、その関係で彼のシステムは国教会の教区教会に付属する学校を中心に普及しました。）の学校では、宗教教育や道徳教育も欠かせなかったのです。当然、こうした多様な教科を教えるのは、モニターには無理だったのです。

第 2 に、一つの教場内に多くの学級（クラス）が混在し、同時並行的にいくつもの授業が行われるのですから、当然のように深刻な騒音問題が生じます。夫々の担当クラスで、モニターは生徒たちに質問し、回答させる形式で、授業を進めます。あちらでも、こちらでも、教室のあちこちで質問や回答が発せられ、その結果教室は、相当に賑やかな空間と化し、騒音に満ちていたのです。こうして、「正常な教育活動に、何らかの騒音が加わると、たちまち教場は騒然とした状況となり、授業を行うことが困難となる。」といった報告が、各地に派遣された視察者たちから、数多く寄せられるようになったのです。一つの教場の中で、生徒をグルーピングして行う大量教育方式は、物理的に行き詰まってしまったのです。

第3に、規律と権威のみによる秩序の下では、生徒の授業への関心を維持することは、とても難しかったことが挙げられます。モニターを手足とした教師（マスター）の権威と規律によって成り立つ教授活動は、生徒の学習意欲を喚起することが、もはや出来なくなりつつあったのです。学習意欲の喪失、中途での就学の放棄、そして低学力という問題が解決されずに残ってしまったのです。ここに、教師と生徒の間の密接な関係を軸にした教授法の開発が待たれることになりました。

国民協会系と内外学校協会系の学校数の推移

設立年代	国民協会系	内外学校協会系
1801-1811	350	28
1811-1821	750	77
1821-1831	897	45
1831-1841	2002	191
1841-1851	3448	449

少し先を急ぎすぎたようです。確かにモニトリアルシステムの欠点は、次第に目に付くようになったのですが、ランカスターらの非宗教教育派の「内外学校協会」系と、ベルら国教会派の「国民協会」系の学校は、互いに競い合いながら、イギリス全国に初等教育を普及させるうえで、大きな役割を果たしたことは間違いようのない事実です。特に 1830 年代以降の急成長ぶりは驚くほどで、1830 年には「内外学校協会」系が 45 校、「国民協会」系が 897 校だったのが、1840 年には 191 校と 2,002 校、1851 年の年頭には、449 校と 3,448 校に達したのです。学校数では、国教会の全面的な支援を受ける「国民協会」系が断然多いのですが、伸び率の点では、30 年比で 4 倍にとどまる「国民協会」系に対し、非宗教教育に徹する「内外学校協会」系の学校は 30 年比で 10 倍に達していたのです。

なぜこのように急増することになったのでしょう？　（続く）

柿生音頭　夢羅多摩雄（志村昇）

弘法松は　天下のながめ
九十九谷と　多摩の丘
津久井往還　相模と江戸を
結ぶ縁の　絹の道

お江戸池上　お会式太鼓
粋な男にゃ　禅寺丸
等海様と将軍様で
柿が生まれた　わしが村

男気質の　黒川炭を
燃えるあの娘の　胸が焼く
七度転んで　八起の縁起
麻生不動の　だるま市

吾妻いとしむ　みことに媛も
慕い舞うのか　白い鳥
粉屋おどりで　村中総出
お軽勘平　朝帰り

色もひときわ　すらりとのびた
万福にんじん　きりょうよし
三国一の　花婿どのも
こよいしばしの　おかん番

小沢城戦　名音になびく
矢崎陣川　古戦場
むかし五人力　ひらいた田んぼ
いまじゃ花咲く　五月台

お不動様へ　今年もおいで
はなしもあるし　ごりやくも
おいら男だ　火玉もなんの
握る度胸の　鉄火松

丘を上がれば　蚕影の森で
夢に見た娘が　繭つくる
柿のふるさと　柿生へおいで
柿生音頭の　輪がおどる

大地に根を張る　小島一也

逞しく四方に張った禅寺丸柿の根
樹齢400年は超えるだろう
名産禅寺丸柿は
柿生の風土の中で育った
その昔
江戸池上の屋台を彩り
貧しかった村の暮らしを助け
今はワインを醸して
ブランドに沸く
時が移り
人は変わっても
柿生の禅寺丸柿は
永久に根を張ることだろう
ふる里の風土は
暖かいのだから…

柿生郷土史料館催物案内　【参加自由、入場無料】

◎開館日:奇数月は毎日曜日、偶数月は毎土曜日　（原則として月4回）
7月　7・14・21・28日（毎日曜日）　**8月**　3・10・17・24日（毎土曜日）
◎開館時間:午前10時～午後3時　（8月31日は休館です）

第16回 特別企画展　「くらしの窓」に見る柿生地区の今昔　その4 ～　平成前期　～

昭和30年創刊の地域のミニコミ誌「くらしの窓」が捉えてきた地域の姿を紹介してまいりましたが、今回は昭和の終わりから、平成前期を中心に、人口急増期の地元の変貌の過程を紹介できればと考えています。

期間　6月8日（土）～ 9月15日（日）　会場　柿生郷土史料館特別展示室

サマースクール　ステンドグラス　どうやって作る？

ご一緒にステンドグラスを作ってみませんか。お好きなガラスを選んでオリジナル作品が作れます。

日　時　令和元年8月24日（土）　午後１時～3時
会　場　柿生中学校　金工･木工室
講　師　栗山　美咲先生（王禅寺在住）
対　象　小学校3年生　～　中学校3年生　先着40名まで
参加費　1名につき500円　（材料費等の実費　当日徴収）
持ち物　上履き、飲み物（ペットボトル可）、軍手、雑巾、エプロン
申し込み　氏名、学年、学校名、連絡先電話番号とFAX番号またはメールアドレスを記載して、下記までファックスまたはメールで申し込んで下さい。
なお、メールで申し込まれた方は、PCメールの受信拒否は解除願います。
申し込み先　小林　044-989-0757（FAX専用）　zabi@za.wakwak.com
締め切り　7月31日（水）
問い合せ　柿生郷土史料館企画担当　小林基男　080-5513-5154　または　044-989-0622
メールも可　zabi@za.wakwak.com